



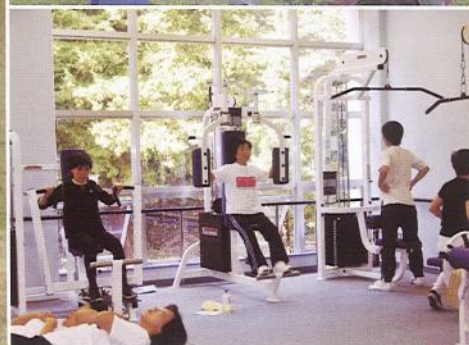
FŪ

EN

楓園

CONTENTS

- 1 — 特集 生涯学習センター10周年
- 3 — 東洋英和幼稚園 ・かえで幼稚園 NEWS
- 4 — 小学部 NEWS
- 5 — 中高部 NEWS
- 6 — 大学 NEWS
- 7 — 学院人事
- 9 — 2007年度行事予定
- 11 — 英和の植物通信 ・お知らせ



■生涯学習センター

今年度、センターは10周年を迎えることが出来ました。今後も地域に貢献する大学として、よりよい講座を開講していきます。ご支援をお願いいたします。

生涯学習センター一〇周年

学長・学院副院長・生涯学習センター長

鮎戸 弘

生涯学習センター一〇年の歩み

人間にとって最も良いのは、飲み食いし自分の労苦によって魂を満足させること。しかしそれも、わたしの見たところでは神の手からいただくもので、自分で食べて、自分で味わえ。

神は、善人と認められた人に知識と楽しみを与えられる。だが悪人には、ひたすら集め積むことを彼の務めとし、それを善人と認められた人に与えられる。

これまた空しく、風を追うようなことだ。

（コヘレトの言葉 二章二四〜二六節）

生涯学習センターは今年二〇〇七年に、いよいよ一〇周年を迎えることになりました。この機会にこの一〇年を振り返り、今後の夢についても、描いてみたいと思います。

東洋英和女学院大学は、大学学部、大学院、そして生涯学習センターを、三本柱として運営されています。少子化、大学受験人口の減少といった傾向のためだけでなく、より積極的に「人生八〇年時

代」に向けて、人々は生涯にわたって学習し続けることの重要性が叫ばれる今日、社会人大学院を目指す本学大学院と、文字通り多くの老若男女が学んでいる本学生涯学習センターの重要性は今後ますます高まって行くことでしょう。

一九九八年、他大学に先駆けて正式に発足した本学生涯学習センターは、当時の教職員の尽力もあり、数年のうちに高い評価を得るに至りました。

■会場・学期・講座

会場は「横浜キャンパス」と「六本木キャンパス」の二か所で行われ、何れも春学期は四〜七月（五〜一〇回）、秋学期は九〜二月（五〜一〇回）、冬学期は一月〜三月（四〜八回）の三学期制です。受講生の数は、両キャンパス合わせて、春学期、約八〇〇〜九〇〇名、秋学期、約六〇〇〜八〇〇名、冬学期、約三〇〇〜四〇〇名、合計延べ年間、約二〇〇〇名が受講しています。開講される講座も大体固まってきました。特別企画を除いて、横浜キャンパスでは、「文芸・教養」

「語学」「音楽・アート」「スポーツ・フィットネス」「子育てネットワーク」の五部門、年間、約五〇講座、六本木キャンパスでは、「文芸・教養」「語学」「音楽・アート」の三部門、年間、約三〇講座が開講されています。

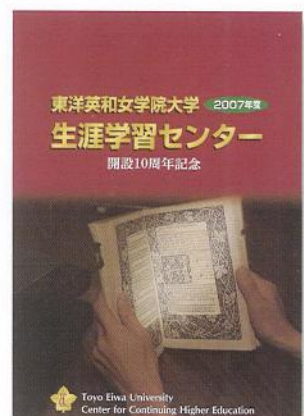
公開講座は大きく三つに分けられます。

「横浜市民大学」「東洋英和」「東洋英和女学院大学港区民大」。「東洋英和女学院大学公開講座」（学部授業をセンターに公開したもの）など。詳しくは「二〇〇七年度生涯学習センター案内」をご覧ください。

生涯学習センターの特徴のひとつは受講生の質に関連しています。両キャンパスともにいわば「常連」の履修生がかなり集まって来られ、真剣に学んでいます。毎年学生が入替わる学部の授業と異なり、センターの受講生は社会経験も豊富で熱心に学びよく質問し、その上こうした常連も多いため、講師陣も講座名は同じでもカリキュラムを工夫し、内容も変えていく必要があるとのこと。教員と受講生が切磋琢磨する真剣な機会ということができるでしょう。

こうした講座に加えて、昨年より特に力を入れているのが学部の授業との連携です。二〇〇六年度はこうした学部の授業をセンターに公開した「東洋英和女学院大学公開講座」が一六も開講されました。将来はさらに学部、大学院との連携も深め、センターで学んだ皆さんが希望すれば学部や大学院で学士や修士の学位を取り易いようなシステムについても、検討して行きたいと考えています。

受講生は近隣の住民の皆さんのほか、

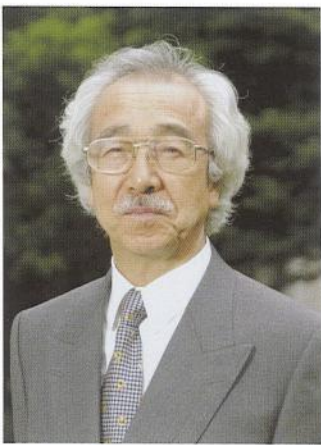


2007年度生涯学習センター案内

東洋英和女学院の関係者の方が多く受講しておられます。二〇〇四年の時点で学院の卒業生が受講生に占める割合は約二割、在校生の保護者・家族が約一割、とのこと。これからも地域貢献とともに東洋英和女学院の在校生、卒業生、そしてご家族といった学院全体の人の「輪」を広げ、学院の「和」を深めていく媒体としてもセンターが活用されることを切に期待しています。

■生涯学習センター一〇周年記念行事

最後に、本年六月、一〇周年を記念した講演会のお知らせです。六月三日（土）、横浜キャンパスにて、午前の部 鮎戸弘（センター長）「一〇周年そして未来を学ぶ」、続いて、記念講演・磯村尚徳氏「日本は文化的に、美しい国か」、午後の部 眞理ヨシコ（センター長代行）ほかによる音楽会、などが予定されています。また、春・秋学期を通じて「私が出会った一冊の本」の連続講座があります。今から予定を入れて、是非、ご参加下さい。（詳細は左ページ）



生涯学習センター10周年記念行事

生涯学習センター10周年を記念して、講演会と公開講座が開催されます。多くの方のご参加をお待ちしております。

開設10周年記念講演会

6月30日(土) 10時～14時30分 横浜キャンパス 入場無料

| | | | |
|-----|---------|----------------|-------------|
| 第Ⅰ部 | 謝辞 | 10周年そして未来を学ぶ | 鮑戸 弘 |
| | 記念講演 | 日本は文化的に「美しい国」か | 磯村尚徳 |
| 第Ⅱ部 | 記念コンサート | 珠玉のコンサート | 原口摩純(ピアノ演奏) |
| | | 日本のうた | 眞理ヨシコ |

※ご参加の場合は生涯学習センター(045-922-9707)までお電話ください。

開設10周年記念特別公開講座 テーマ「私が出会った一冊の本」

第一部は春学期、第二部は秋学期に、横浜キャンパスにて、すべて金曜日13時10分から14時40分まで、全部で24回開講されます。

講師は、この10年間に生涯学習センターで様々な講座を担当してきた外部教員と専任教員を中心に、これまでの読書のなかでとくに心に残った「一冊の本」を選び、その本が講師の人生と研究

に持つ意義を語ります。紹介される書物の分野は多岐にわたりますが、いずれも傾聴に値し、読書の体験をより深めることと思えます。なお、この講座の記録は10周年記念論集として出版いたします。講座と合わせてお読みください。

お問い合わせ先：講演会・講座ともに、大学生涯学習センター事務室
TEL.045-922-9707まで

第一部【春学期】 すべて金曜日(13時10分～14時40分)

| 月/日 | 内 容 | 講 師 |
|------|---|-------------------------------|
| 4/13 | エドワード・サビア『言語』 —思索の源— | 本学教授 伊勢 紀美子 |
| 4/20 | バー吉ニア・リー・バートン 『ちいさいおうち』他 —私の絵本開眼はこの一冊からです— | 福音館書店相談役 松居 直 |
| 4/27 | 中里介山『大菩薩峠』(1913～1944) —世界最長の未完小説— | 本学教授 与那覇 恵子 |
| 5/11 | イマニュエル・カント 『永久平和のために—哲学的草案』 —国際連合の理念のさきがけ— | 本学教授 津守 滋 |
| 5/18 | エーバーハルト・クラウス 『オルガンとその音楽』 —幾多の変遷を重ねたオルガンの歴史をたどる— | 本学院オルガニスト 本学非常勤講師 河野 和雄 |
| 5/25 | 岡倉天心『茶の本』 —日本人としての目覚め— | 本学教授 岡本 浩一 |
| 6/1 | レヴィ・ストロース『悲しき熱帯』 —構造人類学入門— | 本学教授 中生 勝美 |
| 6/8 | アンブローズ・ピアス 『悪魔の辞典』 —隠された言語表現— | 本学教授 新富 英雄 |
| 6/15 | 永井荷風『断腸亭日乗』 —30代から死の直前まで書き綴られた日記を通して一人の作家の「人生」と明治・大正・昭和の世相を知る— | 本学教授 早瀬 圭一 |
| 6/22 | ウィリアム・ウィリス 『幕末維新を駆け抜けた英国人医師』 —甦るウィリアム・ウィリス文書— | 本学教授 黒岩 徹 |
| 6/29 | ドストエフスキー『罪と罰』 —私を変え、今も同行する一冊— | 東京大学名誉教授 荒井 献 |
| 7/13 | 新渡戸稲造『武士道』 —21世紀を生きる日本人の指針— | 本学院理事長・院長 池田 守男 |

第二部【秋学期】 すべて金曜日(13時10分～14時40分)

| 月/日 | 内 容 | 講 師 |
|-------|--|-------------------------|
| 9/21 | チャールズ・ダーウィン『ダーウィン自伝』 —若きダーウィンの彷徨の日々— | 本学教授 下坂 英 |
| 9/28 | サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』 —私たちはみな孤児かもしれない— | 本学教授 太田 良子 |
| 10/5 | エドワード・サイード『オリエンタリズム』 —欧米の色メガネ・非欧米の色メガネ— | 本学教授 池田 明史 |
| 10/12 | ルース・ベネディクト『菊と刀—日本文化の型』 —米女性人類学者が的確・精細に透視した敵国日本の解剖図— | 元本学教授 山岡 清二 |
| 10/19 | Daniel Jones, <i>An Outline of English Phonetics Ninth edition, 1960</i> —私の英語発音の原点— | 東京女子大学 名誉教授 西野 和子 |
| 10/26 | ジョン・ダワー 『敗北を抱きしめて』(上・下) —抱きしめた解放の検証— | 東京女子大学 名誉教授 北條 文緒 |
| 11/9 | J.P.サルトル『実存主義とは何か』 —実存主義はヒューマニズムである— | 本学教授 原島 正 |
| 11/16 | Patrick White, <i>Voss</i> —世界文学として認められたオーストラリアの小説— | 本学教授 パトリシア・スウィッベル |
| 11/30 | 浦辺竹代 『患者とともに—ある医療ケースワーカーの記録』 —浦辺竹代との邂逅をめぐって— | 本学教授 横倉 聡 |
| 12/7 | 土居健郎『「甘え」の構造』 —人生の方向を「科学」から「こころ」へ転換させた本— | 本学教授 山田 和夫 |
| 12/14 | 「ヨブ記」(聖書) —永遠の問いと答え— | 本学教授 渡辺 和子 |
| 1/11 | H・キャントリル 『社会運動の心理学』 | 本学学長・学院副院長 鮑戸 弘 |

うれしいはる

幼稚園では毎年、次年度にやってくる子ども達の為にチューリップの球根を植えています。昨年は園のことを覚えて下さっている方から頂いた物も含め五五〇球もの球根があり、子ども達は大喜び。どこに植えようか、相談をし、大張り切りで準備を始めました。大きなふるいに黒土を入れて二人がかりでふるったり、自分の背と同じくらいシャベルを持ってきて花壇の土を耕したり、球根の配置を考えたり…。一つ一つ心をこめて植えた後もまだ気は抜けません。四月に綺麗に咲いてくれるように土をかぶせ直したり、カラスに食べられないように仕掛けを考えたり、毎年様々な工夫がなされます。



③「あんまりくっつけて植えたらだめだよ」「とんがっている方が上ね」花壇を前に表情は真剣そのものです。



④春、満開のチューリップが子ども達を迎え入れてくれます。



⑤「これはいちごジュースね」「こっちはオレンジ！」庭のあちこちで色水ジュース屋さんの開店です。



①「球根の為にふわふわのお布団を作ろうね」シャベルで花壇の土を掘り返します。



②息を合わせて、一、二、一、二。大きなふるいにかけると固い黒土もあつという間にサラサラです。

そして春には寒い冬を乗り越えてチューリップが綺麗に咲きました。新人園児達だけでなく植えた子ども達も大喜びです。楽しみに待っていた分だけ嬉しさも格別なようです。落ちていた花びらを拾ってごちそうの上に飾ったり、すり鉢の中でつぶして色水を作ったりしています。

園庭のあちらこちらに咲いているチューリップは圧巻です。近くにおいでの際は見にいらしてみませんか。

あーこれやりたかったんだよね

年長組の保育室の前には、テラスのお茶屋さんと呼んでいる子どもたちの大好きな場所があります。そこには、食器棚や、水の出る流し台があります。食器棚には陶器のカップやお皿、本物のフライパン、ティーポットも置いてあります。子どもたちは、残り野菜を刻んだり、ハーブの葉を摘んで、ミントティーを作ったりします。年少・年中組の子どもたちは、大きい組になってこの場所が使えるのを楽しみにしています。

Aちゃんも年長組になったらお茶やさんになりたいと楽しみにしていて、砂場から眺めては「やりたいなあ」とつぶやいていました。年長組になった四月、Aちゃんはビニール袋を持っていそいそと登園して来ました。袋の中には、キャベツくずが入っています。身支度を済ませると、私のところに「先生、お茶やさんをするから包丁かしてください」と言いに来ました。私が包丁を出すとテラスに行き、周りを見回します。置いてあるものを、一つひとつ確認するとまな板を出して持ってきたキャベツくず



テラスでは、今日も子どもたちがお茶やさんの遊びを楽しんでいます。

を包丁で切り始めます。そこへ、BちゃんとCちゃんがやってきました。「いれて」「いいよ」「じゃあこの野菜、フライパンでいためて」「うん」とお料理が始まります。Bちゃんが、「お茶ってどうやって作るのかなあ」と二人に聞きました。「葉っぱがいるんだよ。それと、あつ、これ前の大きい組が使ってたよ」。Aちゃんが取り出したのはすり鉢です。テラスから手を伸ばした所にちょうど生えているミントの葉を摘んですり鉢に入れ、すりこぎですります。それをティーポットにいれ、水を足すとカップに注ぎます。鮮やかな緑の水（お茶）がカップに注がれると三人は目を輝かせて「わー」と声を上げます。「これがやりたかったんだよね」と顔を見合わせています。次々にカップに注ぐと、「先生、お茶やさんに来てください」と呼びに来ました。

アンニョンハセヨ、韓国のお友達

小学部英語科

町田協子

二〇〇七年一月一八日、この日は小学部と韓国梨花女子大学附属初等学校にとって、記念すべき日となりました。両校の六年生が英語で手紙交換を開始して四年、昨年五月には本校教員が韓国を訪問することができ、将来的には児童の交流をという願いが、四人の先生と三二人の児童の来校という形でこんなにも早く実現したからです。

■六年児童の感想より

「二月一八日、韓国の六年生が私達の学校にやってきました。六年生は体育館に集まり、交流会をスタートしました。私達が学校案内をしたり、いくつかのグループに分かれてゲームをしたりして楽しみました。昼食をいっしょにとった後、韓国の文化と日本の文化を教えあったりして、短い時間でしたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。」

「去年から、韓国のお友達と学校を通して、英語での文通が始まりました。私の相手のお友達は女の子で必ず返事を送ってくれました。写真も送ってくれたのですが、とても素敵なお友達が一目会ってみたいなど思っていました。それが今回実現しました。なんと文通のお友達の何人かが英和に来ることになりました。一月一八日がその日でした。やはり文通のお友達は素敵で、私は

知っている英語で話す努力をしました。韓国のお友達と半日過ごせたのは貴重な経験で、良い思い出になりました。これをきっかけに、もっと英語を勉強したいなと思います。」

「私は韓国の方々と交流をして、とてもおどろきました。背が高い人が多く、眼鏡をかけている人の割合も多いのです。中でも一番おどろいたのは、英語が上手いという事です。また日本と韓国の文化の違いもとても強く感じました。私は、この交流を通して、大変刺激を受けたので、貴重な体験ができ、うれしいです。」

「韓国交流会の前日、私はとても緊張していました。何故なら、大勢の人の前で、きちんと英語で司会ができるかどうか心配でした。なので、まぢがえないように沢山練習しました。それでも当日は、もっと緊張してしまいました。しかし始まると、意外とうまく話すことができました。韓国の友達はもつとあいさつが上手でびっくりしました。その後は緊張がなくなり、みんなと楽しく遊んだり、おしゃべりができて、良い歌も聞かせてもらい、交流会は大成功したと思います。」



韓国の伝統楽器を演奏してくれました。



英語でフルーツバスケットをしました。



お互いの国の言葉で、名前の書き方を教え合いました。

■韓国児童の感想より—原文のまま—

“As we sent letters back and forth with our penpals, we became more and more curious about all of you and really wanted to know more about you... Although we notice some differences between our two countries, we realized that we actually have a lot more in common... I hope that we can all get to know each other better and make friends.”

“Today was very exciting because of you... You were so kind to us. Thank you for your kindness and I like your bright smile... Before, I didn't like Japan because Toyotomi Hideyoshi destroyed our Choson Dynasty. But now, I can understand you all and I respect your tradition. I like you all and your school.”

“I had a great time with you guys, and now I know correctly about Japan. Thank you for helping me to see your school and teach about many things. I was very impressed to your school. I never forget this time.”

■校長先生からのお礼状より

“I am deeply thankful to you for so warmly welcoming our students and teachers, so kindly showing us every corner of the school, preparing for various exchange programs, and even arranging a Korean translator and the mothers who helped us translation... Through this visit, we teachers and students got so impressed that the children at Eiwa Primary School were so bright and disciplined. We hope the children build their friendship more firmly from now on by keeping in touch even after they leave the school... We will be waiting for your students' visit in the near future.”

就任にあたって

本年四月より中学部部長として本学院の中等教育の重責を担うことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

「英和での六年間の生活はその後の私たちの人生を支えています。どの道を歩くべきか迷う時、どうしたら良いか悩む時英和が私にどう教えてきたかを心に問いかけます。」と語る卒業生に出会うことが少な

くありません。英和で学び、身に付けたことが今の自分を活かす力と歩む道を選ぶ知恵となっているのです。英和の卒業生であることを感謝し、誇りに思っていることが伝わってまいります。

この素晴らしい果実は、創立以来の尊敬する先達の祈りと惜しみない生徒への愛情と叡智が育て上げたのに違ひありません。その源は創立百二十三年になろうとしている長い歴史を貫いて、「神を敬う魂」と「他者を慈しみ仕える心」の育成を英和教育の真髄としてきたことにあります。

ご存知のように今、子供らが加害者・被害者として巻き込まれる信じ難い事件が少なくありません。生徒たち



中学部部長
鈴木 齊

が生きようとする社会は余りにも歪んで不健康であります。

彼らの目には、先の見えない混沌とした未来が横たわっているように見えているのではないかと思います。学校教育への不信、混乱する教育行政、少子化などの問題も山積しています。しかし馬小屋で産まれたみどりごイエスを知る私たちは嘆き惑わされることにはなりません。

先に述べた様に、東洋英和の教育実践による果実は、明治・大正・昭和・平成とどのような時代も神から託された「敬神奉仕」による人間教育がなされてきた証しと云えます。

明日を生きる生徒たちのために、私共はさらに思いを込めて熱心にキリスト教信仰に基づいた人間教育に真摯に取り組まねばならないと決意をあらたにしております。

東洋英和女学院中学部と高等部は常に「中高部」として動き、中高一貫教育を互いに担う一心同体といった存在として、同じ教育目標、同じ教育方針で教育の業に励んで来た。しかし特に高等部では、思春期後期の不安



高等部部長
佐藤 順子

定な時期にあり、高校卒業・大学進学という大きな関門を前にしている生徒たちを、勇気と希望と使命感を持って前進させるように教育しなければならぬと考えている。高等部での三年間は、単に大学受験のための準備期間、大学への通過点としてあるのではない。東洋英和はそのような学校ではない。礼拝・授業・学習・行事・生徒会・クラブ・YWCA・野外キャンプ活動等、その一つ一つ、一瞬一瞬を大事にして真剣に取り組み、感動し、考え、楽しみ、悩み、苦労し、喜びと悲しみを分かち合い、友情を深める、このような日々を送ること・そのような日々を友と過ごすことが自己を確立し向上させる準備になる。自分を自分として受け入れ自信を持ち、他者をも尊重する人へと育てられる、このようなそれぞれの人生への準備こそが中高時代に最も大切な準備であると考えている。

近年高等部では「進路指導」に力を入れ、中学三年生の時から段階的に自分の適性・進路を考えさせ、学習への動機づけを助けるプログラムを展開している。カリキュラム編成もその一つで、生徒の個性や希望する進路に合った多種多様な選択が可能になった。また確かな情報に基づくきめ細かい個人指導も充実してきた。しかしそれらは、自己目的な、すなわち自分の幸福を追求し欲望を満足させるために必要なこととしてではなく、学院標語である「敬神奉仕」の精神を実践するためのものとしてなされることは「英和らしさ」を失うであろう。中高での学びも進路の選択も大学での研鑽も、隣人と社会に仕えることに向かつてなされなければならない。さまざまな問題を抱えて苦悩する現代社会・世界の現実に向き、事実を正しく認識して、共感する柔軟で温かい心をもって隣人と社会に奉仕する生き方をする人を育てるために、具体的な方策を検討しなければならないと考えている。

■硬式庭球部 一部昇格

硬式庭球部は、二〇〇六年度関東テニスリーグ女子第二部で全勝優勝、さらに入替戦で青山学院大学に六対一で勝ち、見事一部に昇格。体育系を除く女子大では初めての快挙である。「高校時代は選手として無名な学生たちが、学業をおろそかにすることなく、厳しいトレーニングに耐えて一部に昇格したことを誇りに思っています。今後は一部で勝ち抜き王座へ、



そして大学日本一を目指して、より良いチームをつくらせていきますので、今までの以上の応援をお願いいたします。」(監督の澁谷隆良先生談)

■今、注目のサークル

英和サポートネット (EJSN)

英和サポートネットは、二〇〇五年夏に「学生が学生を支援する団体」として発足。本学に在籍する聴覚が不自由な学生のニーズに応えたいという思い、さらには大学にボランティアアセンタールをつくりたいという思いが合わさり、活動を始め

た。最初の活動は講義の筆記通訳を行う学生を養成するために「ノートテイカー養成講座」を開催し、五〇名以上の参加者があり、一八名が登録者となることで、現在六名の学生が奉仕活動をしている。研修の最後の仕上げとして実際に講義に臨み、ノートを取り先生に点検してもらったところ、よく講義を理解したノートができたとお褒めの言葉をいただいたとのことである。なお、その活動の様子は、横浜市ボランティアセンターの機関誌二〇〇七年一八巻冬号に紹介された。

■保育子ども研究所 設立記念講演会
二月二日(水)、大学横浜キャンパスで「子どもの未来と社会」と題する講演会が開催された。講演者の池田守男本学院理事長が出席できなくなったため急遽、吉岡良昌人間科学部教授が講演予定の内容を基に話をした。

■人間福祉学科 海外福祉研修旅行

人間福祉学科は二月一八日から二六日までの九日間、デンマークとドイツに研修旅行を実施した。福祉学科恒例の海外研修であり、参加者は三二名であった。主な研修先は、デンマークでは、エルシノア市の様々の障がいを持つ児童学級が併設されている公立学校、同市の高齢者総合ケアセンター、ドイツではバイエルン州の障がい者の総合施設等である。これまでの参加者の感想文を読むと、やはり北欧の福祉は模範的で見習わなければならないということ、日本との福祉の考え方の相違、たとえば北欧での平等は日本のように物理的に均等ではなく、状況に応じた対応が前提とされていることを知ったこと、少数者の意見が尊重されていること等々、海外の福祉の状況を見聞することで、日本の現状との比較ができ、福祉の勉学に深みが与えられたことが判る。

2007年度 前期
大学オープンキャンパス開催日

- 6月17日(日)
- 7月15日(日)
(大学生生活験講座)
- 7月29日(日)
- 8月24日(金)
- 9月17日(月・祝)

お問い合わせは入試広報課まで
045-922-5512

2007年度 前期
大学院入試説明会・相談会開催日

- 5月26日(土) 13:00~15:30
- 7月28日(土) 13:00~15:30

両日ともに人間科学研究科と国際協力研究科の説明と、個別相談会、領域別説明をいたします。

お問い合わせは大学院事務室まで
03-3583-4031



ドイツのバイエルン州最大の障がい者施設を持つ
Regens Wagner Hohenwart

■二〇〇六年度 学長賞

二〇〇六年度の学長賞は、以下に記す六人と三つの団体に授与された。

【個人表彰】

木下 聖雪

幼年期から始めたバトントワリングの全国大会で一年次六位、二年次九位、三年次三位、四年次も上位チームの中心選手として活躍した。

中村友梨子

グラントホッケーの副将として活躍するとともに、地域スポーツ振興にも携わり体験を深めた。塚本ゼミで、地域の小学校と中学校と連携しつつ、学習意欲の研究をして、卒論を作成し、中学校で報告会をして評価された。

深井絵理菜

センターナリー・カレッジに留学のときソフトボール部に所属し、良い成績を上げ、地元の新報で紹介された。さらにハリケーン・カトリナの際には、ボランティア活動にも参加した。

岡部 桂子

四年間礼拝の奏楽を担当、美術部では部長を務め、さらに隣接する特別養護老人ホームと交流し地域に貢献した。

本田優里子

サンディエゴ州立大学に留学のとき、現地の学生に日本文化紹介のイベントを企画し、実施した。さらに日本語クラスのアシスタントを務めた。

山岸絵玲菜

サンディエゴ州立大学に留学のとき、現地の学生に日本文化紹介のイベントを企画し、実施した。さらに日本語クラスのアシスタントを務めた。

【団体表彰】

体育会硬式庭球部、かえて祭実行委員会、東洋英和女学院大学オーケストラ部

2007年度 行事予定

| 小学部 | | 東洋英和幼稚園 | | 大学付属かえで幼稚園 | |
|-----|--|---------|--|------------|--|
| 4月 | 9日(月) 始業式 11日(水) 入学式 | 4月 | 9日(月) 始業礼拝 13日(金) 入園式 27日(金) 新入園母子歓迎会 | 4月 | 6日(金) 始業礼拝 9日(月) イースター礼拝 12日(木) 入園式 26日(木) 園外保育(4歳児) 28日(土) ワーク(5歳児、父親保育参加及び家族のバーベキュー、年4回実施) |
| 5月 | 2日(水) 春の遠足 26日(土) 運動会 30日(水) ペンテコステ礼拝 | 5月 | 18日(金) 春の遠足(葉山、長者ヶ崎) | 5月 | 10日(木) 園外保育(5歳児) 17日(木) 園外保育(3歳児) |
| 6月 | 6日(水)～8日(金) 4年 追分の生活 14日(木) 学校説明会① 26日(火) 鑑賞の日 30日(土) 学校説明会②・土曜参観 | 6月 | 2日(土) 父母の会 7日(木) はみがき指導 22日(金) 銀杏の木献金セール | 6月 | * 父親講演会 |
| 7月 | 追分の生活 17日(火)～19日(木) 1年1組 19日(木)～21日(土) 1年2組 21日(土)～23日(月) 2年1組、6年1組 23日(月)～25日(水) 2年2組、6年2組 25日(水)～27日(金) 3年1組・2組 | 7月 | 4日(水)～6日(金) 年長組(5歳児)キャンプ (軽井沢追分寮) 12日(木) 終業礼拝 16日(月) 入園説明会① 21日(土) 入園説明会② | 7月 | 18日(水) 終業礼拝・たのしみ会(3歳児) 19日(木) 夕涼み会 |
| 8月 | | 8月 | | 8月 | 28日(火)～29日(水) 夏期保育 30日(木)～9月1日(土) 軽井沢キャンプ(5歳児) |
| 9月 | 18日(火)～21日(金) 6年 修学旅行(北海道) 25日(火)～28日(金) 5年 追分の生活 | 9月 | 6日(木) 始業礼拝 28日(金) 祖父母の会 | 9月 | 6日(木) 始業礼拝 * 母親講演会 |
| 10月 | 1日(月) 追悼記念日礼拝 4日(木) 秋の遠足(1～4年生) 5日(金) 前期終業式 9日(火) 後期始業式 23日(火) 球技会 | 10月 | 1日(月) 追悼記念日礼拝 13日(土) ひよこ組(3歳児)・ 年少組(4歳児) 父と遊ぶ日 23日(火)～26日(金) 入園考査 | 10月 | 1日(月) 追悼記念日礼拝 20日(土) ファミリーデー(4、5歳児) (大学校地) 24日(水) 入園説明会 |
| 11月 | 1日(木) 入学考査 6日(火) 学院創立記念日 30日(金) 学芸会 | 11月 | 6日(火) 学院創立記念日 16日(金) 年長組 りんご園遠足 (長野県上田市) | 11月 | 1日(木) 入学願書受付 2日(金) 芋ほり(4、5歳児) 6日(火) 学院創立記念日・音楽会 22日(木) 交通安全指導日 26日(月) アドヴェント礼拝Ⅰ |
| 12月 | 3日(月) クリスマスツリー点灯式 15日(土) むかえようクリスマス 19日(水) クリスマス礼拝 | 12月 | 5日(水) 母の会アドヴェント礼拝 13日(木) アドヴェント終業礼拝 | 12月 | 3日(月) アドヴェント礼拝Ⅱ 10日(月) アドヴェント礼拝Ⅲ 14日(金) クリスマス礼拝(3歳児) 18日(火)・19日(水) クリスマス礼拝(4、5歳児) |
| 1月 | 30日(水) マグノリアコンサート | 1月 | 9日(水) 始業礼拝 * おもちつき * 年長組 ACEF訪問 | 1月 | * 教会訪問 |
| 2月 | 1日(金)～2日(土) 美術展 19日(火)～22日(金) クラブ発表週 | 2月 | 2日(土) 年長組 父と子の遠足 (栃木県那須高原) 13日(水) 日本舞踊を観る会 16日(土) ホームカミング | 2月 | 9日(土) 父親保育参加(4歳児) 20日(水) 卒業遠足 * おもちつき |
| 3月 | 1日(土) 親子討論会 13日(木) 卒業式 17日(月) 修業式 20日(木)～22日(土) 歴史探訪の旅(奈良・京都) 24日(月)～27日(木) スキー教室(熊ノ湯) | 3月 | * お別れ会 * 課外日舞おさらい会 * 課外ピアノ科おさらい会 11日(火) 終業礼拝 12日(水) 卒業式 | 3月 | 18日(火) 終業礼拝 19日(水) お別れ会 20日(木) 卒業式 |

*印は日程が未定です。(3月31日現在)

2007年度 行事予定

| 大 学 院 | | 大 学 | | 中 高 部 | |
|-------|---|-----|--|-------|--|
| 4月 | 7日(土) 入学式・オリエンテーション 21日(土) 修士論文題目届提出締切日 (2007年9月修了見込者) 博士論文題目届提出締切日 (2008年3月修了見込者) | 4月 | 2日(月) 入学式 2日(月)～6日(金) 学内オリエンテーション 28日(土) プレイデー (幼免課程履修生) | 4月 | 6日(金) 中学部入学式 9日(月) 中学部始業式 高等部入学式・始業式 21日(土) 授業公開日・母の会総会 |
| 5月 | 26日(土) 入試説明・相談会 | 5月 | 16日(水)～17日(木) 1年生オリエンテーション合宿 (国際社会学部) 17日(木)～18日(金) 1年生オリエンテーション合宿 (人間科学部) | 5月 | 7日(月)～9日(水) 高3修養会(天城) 14日(月)～18日(金) 高2修学旅行(広島・長崎) 14日(月)～18日(金) 中1オリエンテーション前後期 (軽井沢追分) 16日(水) 中2～高1遠足 / 高3模試 |
| 7月 | 5日(木) 修士論文 / 研究成果レポート提出 締切日(2007年9月修了見込者) 7日(土) 2007年度修士課程後期入学試験 28日(土) 入試説明・相談会 | 6月 | 16日(土) 東京女子大学スポーツ交流会 17日(日) オープンキャンパス 30日(土) 生涯学習センター記念講演会 | 6月 | 5日(火)～8日(金) I 期中間試験 8日(金) 花の日礼拝 / 観賞行事 / 花の日訪問 9日(土) 花の日訪問 21日(木)～22日(金) 高1カンファレンス(軽井沢) 29日(金) 合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部) |
| 9月 | 8日(土) 人間科学研究科修士課程 2007年度前期(秋季選抜)一次試験 15日(土) 人間科学研究科修士課程 2007年度前期(秋季選抜)二次試験 国際協力研究科修士課程 2007年度前期(秋季選抜)試験 2006年度後期科目等履修生・プ ログラム履修生試験 22日(土) 学位授与式 / 入学式・オリエン テーション | 7月 | 15日(日) 大学生生活体験講座 29日(日) オープンキャンパス | 7月 | 7日(土) オープンスクール 21日(土)～23日(月) オープニングキャンプ(野尻) 20日(金)～8月10日(金) 語学研修旅行(カナダ) 24日(火)～31日(火) 中2夏期学校前後期(野尻) |
| 10月 | 1日(月) 追悼記念日礼拝 6日(土) 修士論文題目届提出締切日 (2008年3月修了見込者) 28日(日) 入試説明・相談会 31日(水) 博士論文提出締切日 (2008年3月修了見込者) | 8月 | 24日(金) オープンキャンパス | 8月 | 1日(水)～3日(金) 修養会 1日(水)～6日(月) キャンプ(野尻) 6日(月)～9日(木) 訓練キャンプ(野尻) |
| 11月 | 6日(火) 学院創立記念日 | 9月 | 17日(月) オープンキャンパス | 9月 | 8日(土) 第1回学校説明会 19日(水)～26日(水) I 期末末試験 |
| 12月 | 1日(土) 国際協力研究科修士課程 2007年度前期(冬季選抜) 6日(木) 修士論文 / 研究成果レポート提 出締切日(2008年3月修了見込者) | 10月 | 1日(月) 追悼記念日礼拝 8日(月) オープンキャンパス 28日(日) 公募制推薦入試、一般・社会人 編入試、外国人留学生入試 | 10月 | 1日(月) 追悼記念日礼拝 4日(木) 第II学期始業礼拝 6日(土) 体育祭 19日(金)～20日(土) 楓祭 |
| 2月 | 9日(土) 人間科学研究科 2007年度前期(春季選抜)一次試験 16日(土) 人間科学研究科 2007年度前期(春季選抜)二次試験 国際協力研究科 2007年度前期(春季選抜)試験 | 11月 | 2日(金)～3日(土) かえで祭 6日(火) 学院創立記念日 * 創立記念礼拝 16日(金) チャペルコンサート * 収穫感謝祭(幼免課程履修生) 28日(水) アドヴェント夕礼拝 | 11月 | 6日(火) 学院創立記念日 7日(水)～13日(火) 創立記念特別週間 17日(土) 第2回学校説明会 22日(木) 球技会(中学部) |
| 3月 | 8日(土) 2007年度前期科目等履修生・プ ログラム履修生試験 22日(土) 学位授与式 | 12月 | 14日(金) 清楓会クリスマスパーティー 16日(日) スカラシップ特別入試 21日(金) クリスマス礼拝 | 12月 | 3日(月)～7日(金) II 期中間試験 8日(土) クリスマス音楽会 20日(木) クリスマス礼拝 |
| | | 1月 | 19日(土)～20日(日) 大学入試センター試験利用選抜 31日(木) 一般入試 | 2月 | 1日(金) 入学試験A日程 4日(月) 入学試験B日程 |
| | | 2月 | 20日(水) 一般入試(後期) | 3月 | 3日(月)～7日(金) II 期末末試験 14日(金) 中学部卒業式・修業式 高等部修業式 17日(月) 高等部卒業礼拝 18日(火) 卒業式 20日(木)～4月3日(木) 短期留学(アメリカ) 24日(月)～27日(木) スキー教室(志賀高原) 25日(火)～28日(金) 聖書科学習旅行(沖縄) |
| | | 3月 | 14日(金) 卒業礼拝 16日(日) 大学生生活体験講座 19日(水) 卒業式 | | |

| 全 学 院 | |
|-------|--|
| 4月 | 1日(日) 新任者辞令交付式 13日(金) 全学院新年度礼拝・歓迎会 |
| 5月 | 11日(金) 院長就任式 |
| 6月 | 22日(金) 後援会常任役員会・役員会・総会 |
| 未定 | 三英和懇談会(於静岡英和) |
| 9月 | 7日(金) 後援会・母の会役員・学院懇談 会 / 後援会常任役員会 |
| 10月 | 1日(月) 追悼記念日礼拝 12日(金) 後援会役員会 |
| 11月 | 3日(土) カナダ宣教師墓前礼拝 6日(火) 学院創立記念日 永年勤続者表彰式 7日(水) 全学院研修・懇談会 * ハンドベルフェスティバル |
| 12月 | 7日(金) 全学院クリスマス礼拝 |
| 3月 | 7日(金) 後援会・母の会役員・学院懇談 会 / 後援会常任役員会 28日(金) 退職者送別会 |

英和の植物通信

～目を近づければ楽しさ無限～ No.08

絵・文・写真：中池 敏之
 (大学非常勤講師：博物館概論等担当)
 生涯学習センター講師



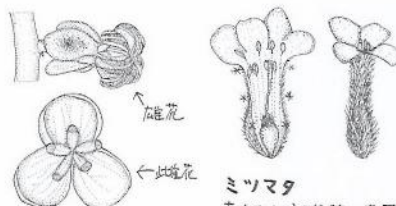
ツクシ (横浜キャンパスにて)

ツクシ (土筆)

春、横浜キャンパスではツクシが一杯。昔の小学読本には「ぼかぼかと あったかい日につくしのぼうやは 目がさめた。つくし だれの子 すぎなの子。どでの土 そっとあげて つくしのぼうやが のぞいたら 外はそよそよ 春の風」と。ほのぼのします。

ツクシは子ども達のお気に入り。「つぎつぎ どっからついで ついだとこなしゃれ」と歌いながら「つぎつぎ遊び」に興じます。春の山菜としても大切。

ツクシ(スギナも含めて)の方言は約1000、童歌は200以上もあり、人との親密な関係を示しています。



ミツバアケビ
 此花は子と母の境がわからない、皮も肉もおいしい。

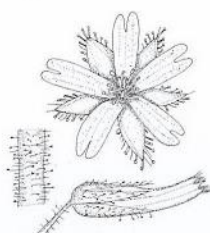
ミツマタ
 春だというのに花の表面は絹糸のような毛を密生。



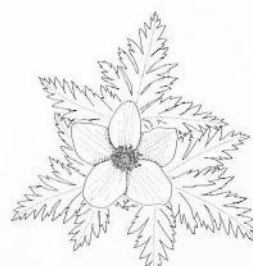
スギナ(茎の横断面)
 1ルーペで見ると、断面は曲線と円のハーモニー。



アミガサタケ
 香が出てくる。肉料理のソースには大切な材料。



オレンジミミナゲサ
 白い花弁の先の部分がかくぼむ。全体に腺毛がある。



イカリソウ
 香、林が明るい内に花を咲かせる。

学院各部説明会の御案内

●東洋英和幼稚園

入園説明会① 7月16日(月) 10:00~
 入園説明会② 7月21日(土) 10:00~

●小学部

学校説明会① 6月14日(木) 13:00~
 学校説明会② 6月30日(土) 13:00~

●中高校

オープンスクール 7月7日(土) 9:30~12:30
 学校説明会① 9月8日(土)
 10:00~ 6年生対象
 13:30~ 5年生以下対象
 学校説明会② 11月17日(土)
 10:00~ 5年生以下対象
 13:30~ 6年生対象

●大学

大学NEWSのページをご参照ください。

*詳しくは各部ホームページをご覧ください。

東洋英和女学院学院報 楓園 第48号

発行日：2007年4月18日

編集：学院報編集委員会

発行：学校法人 東洋英和女学院
 東京都港区六本木5-14-40
 TEL 03-3583-3325

メールアドレス

koho@toyoeiwa.ac.jp

ホームページアドレス

http://www.toyoeiwa.ac.jp/

新入会員の紹介
 今年も卒業式と共に、若い新入会員を同窓会にお迎えいたしました。

高等部同窓会東光会 一九一名
 大学同窓会楓美会 六六二名
 大学院同窓会 二二名

同窓会総会のご案内
 同窓会総会は各部同窓会、全体同窓会が同日に行われます。

同窓生が共に集い、英和への思いをひとつにし、東洋英和の発展を心から祈る日でありたいと願っております。

同窓会総会

日時 2007年6月2日(土)

会場 六本木校地にて

短期大学同窓会・GHY維持運営会計報告

| | |
|-------------|---------------|
| 11:00~ | 中高校集会室 |
| 短期大学同窓会各会 | 11:30~ 同上 |
| 楓美会(大学同窓会) | 11:30~ 本部大学院棟 |
| 東光会(高等部同窓会) | 12:30~ 中高校小講堂 |
| 大学院同窓会 | 12:30~ 本部大学院棟 |

東洋英和女学院同窓会(全体) 13:10~
 新マーガレット・クレイグ記念講堂
 礼拝・総会議事・オルガン演奏を行います。
 終了後お茶の用意を致しておりますのでご自由にご相談下さい。
 (終了15:30予定)

同窓会より

新院長・副院長就任

二〇〇六年度第六回理事会において新院長・副院長が以下の通り選任されました。

院長(理事長兼任) 池田守男
 副院長(学長兼任) 鮎戸弘
 副院長 吾妻國年

お知らせ

二〇〇六年度長野賞

二〇〇六年度の長野賞が、卒業式・学位授与式で以下の方々には授与されました。

| | | |
|-------|---------|-------|
| 【大学院】 | 人間科学研究科 | 古川真由美 |
| 【大学】 | 人間科学科 | 鈴木 安代 |
| | 人間福祉学科 | 熊田 早紀 |
| | 国際社会学科 | 原田 綾 |
| 【高等部】 | | 利根川知美 |